

（1） 研究テーマを考えよう

いよいよ研究が始まります。まずは研究テーマを決めていきましょう。RAP 応用 B（課題研究）を実行していくうえで、最も大切な時間です。下に示す手順で考えて行くとスムーズにいきます。

① 大きな枠を決める

「何について調べたいか」「どんな困り感を解消したいか」などを考えてみましょう。「私たちは〇〇班だから〇〇に関係する内容じゃないと・・・」と考えて視野が狭くなりがちです。

まずは身の回りのモノ、現象に着目して自由に発想してみよう！テーマとなる題材を複数個挙げておくといいですよ。

② 情報を集める

大きな枠が決まったら、次はその事についてたくさんの情報を集めましょう。みなさんが考えることや不便に感じていること、疑問に思うことは、実は世界共通ということもあり得ます。日本だけでなく、世界中で問題を解決しようと研究がなされていることもあります。

まずは、研究テーマについて、どこまで理解が進んでいるのかを書籍や論文、インターネットなどの情報媒体（参考文献といいます）から情報を集めていきましょう。集める情報は、できるだけたくさんの参考文献から見つけると良いです。一見関係なさそうに見える分野から意外な発見が・・・？！

※ 図書館、クロムブックを最大限に活用していきましょう。柔軟に考えよう。

③ 集めた情報を整理する

集めた情報を正確に読み取り、「わかっていること」と「解決できていないこと」に整理してみよう。整理した情報から、今回の研究内容を決めるヒントが得られるかもしれません。さらに集めた情報の信用性を確認するために、実際に実験してみてもいいですよ！

④ 「〇〇班として」何ができるかを班で議論する

ここまで来たら、あと少し！ここでやっと、自分たちの班（〇〇の専門家）として何ができるか、どうアプローチしていけるかを考えていきましょう。ここでもまた情報集めが必要となってくるかもしれません。班の中でしっかりと議論して方向性を決めていきましょう。

このテーマ決めについては、6月4日にミニ発表会を行います。【ミニ検討会資料】に沿って発表ができるように、資料集め、過去のデータ分析を行ってってください。必要なら付箋などにメモをとって記録しておきましょう。【ミニ発表会資料】も提出資料になります。締め切りは **5月31日（金）** です。

(2) 提出物の扱いについて

研究は、普通の教科と違い点数化できません。みなさんがどのくらい研究に主体的に関わっているか、真剣に向き合っているかを**判断する指標**となるのが、配布しているワークシートです。毎回実験をしていくうちに記録し忘れたり、研究に対する関わり方が雑になったりすることがあります。定期的に自分のワークシートを見て、班の進捗状況や自分の研究に対する関わり方を**見直**していくようにしましょう。

(3) RAP応用Bを始めるにあたって諸注意〔再確認〕

- ① 原則、みなさんの主体性に任せます。**自由**に考え、活動してください。
- ② RAP応用Bの時間（研究実験以外でも）はできるだけ記録には「**ボールペン**」を使いましょう。
- ④ 何でも**メモするクセ**を身につけよう。
気づいたこと、感じたことなど良いこと悪いこともすべて記録しておこう。
何かのヒントになる・・・かもしれません。
- ⑤ ときどき立ち止まって、進捗状況や自分の現状を**客観的に**把握することを心がけよう。
年間予定をファイルに貼り、常にチェックできるようにしておこう。
- ⑥ 指導教員やRAP応用B担当にすぐに「**ほう・れん・そう**」
困ったこと・問題発生！（壊れた！とか何か変！）ということがあったら、どんな小さなことも「**報告**」
実験やってみたいとか、このまま置いておきたいなど他班と違う行動をするときは、「**連絡**」
こんなの使ってみたい！こんな実験器具ないですか？という疑問が出てきたら「**相談**」